# 令和２年度　地域ケア・地域看護推進委員会　活動報告

| | |
|---|---|
| ■委員名 | 委 員 長：大迫しのぶ<br>副委員長：久山かおる<br>委　　員：小川かおり・濱田智子・住田博美・茨木ゆかり・笹山留美・菅原かおり・森本敦子・永良直子・上野由美・藤原恵美子 |
| ■開催回数 | 4回 |
| ■活動目標 | １．各支部における看看連携の現状を把握する。<br>２．看看連携の課題を明らかにする。<br>３．看看連携における共通の課題と好事例を共有し、各支部の連携システムの見直しや改善につなげる。 |
| ■活動内容 | 本委員会における看看連携の定義と目的について検討し、次のように定義した。<br>看看連携：対象者の生活を支えるため、看護職同士がつながりあい、そのことが組織的に行われること。<br>目的：支部における看看連携を充実させ、地域包括ケアシステムをさらに推進する。<br><br>今年度は、支部と委員の連携により、地域で活動している看看連携におけるネットワークの情報を収集し、その情報からネットワークの現状と課題を整理した。各委員が支部と協力し、情報収集を継続している。情報収集により、一部の看看連携のネットワークだけでなく、多職種から成るネットワークも明らかにできた。 |
| ■活動の評価 | まず、「看看連携」の定義と目的を整理し、活動の方向性を定めることができた。次に、各支部で活動している看看連携と多職種連携のネットワークを、各委員が支部と連携してリストアップし、現状の把握と課題を整理できた。 |
| ■今後の課題 | ・看看連携のネットワークと多職種から成るネットワークを分けて整理する。<br>・看看連携のネットワークについて県内のさまざまな場所で勤務する看護職に周知する。<br>・COVID-19による制約下における支部と委員会との情報収集や情報共有等の連携を行う。 |